

ねらい

主人公が、どうして不規則な生活を変えようとしたかを考える活動を通して、自らも規則正しく、健康な生活を送ろうとする心情を育てる。 ※【内容項目：節度・節制 A-（3）〈第1学年及び第2学年〉】

ICT活用のポイント

- 道徳的価値に対する問題意識をもたせるためのICT活用
- 学習支援ソフトを活用したプレゼン力の向上

【導入】ICT活用場面①

規則正しい生活について、問題意識をもち、気づきを共有する。

【展開】

資料理解を通して、主人公の気持ちの変容について考えを持つ。

【終末】ICT活用場面②

これまでの生活を振り返り、これからの生活を考え、発表する。

事例の概要

ICT活用場面①

大型テレビ画面に投影したQRコードをタブレットで読み込み、ウェブブラウザのアンケート機能を活用して、これまでの生活を振り返り、課題を明確にする。

ICT活用場面②

複数枚のカードを繋げ、マーカー機能等を活用し、他者の考えから気付いたよりよい解決策を取り入れながら、自分の考えを順序よく段階的にプレゼンテーションを行う。



【道徳・小2・規則正しい生活をするために A 節度、節制】②

【事例におけるICT活用の場面①】



導入において、大型テレビ画面に投影したQRコードをタブレットで読み込み、ウェブブラウザのアンケート機能を活用して、児童にこれまでの生活を振り返らせた。リアルタイムでその結果を可視化し、規則正しい生活に対する問題意識の明確化を図った。

グラフによって視覚的に課題が明確化されたことで、学ぶ必要感のある「めあて」の設定にも繋がっていた。また教師の業務改善に繋がる効果的な手立てとなっていた。

【事例におけるICT活用の場面②】



終末において、規則正しく健康に過ごすための考えを学習支援ソフトを通して提出させ、視覚化されたそれぞれの考えを共有することで、共通点や相違点について比較させた。そのことにより、他者の考えから気付いたよりより解決策を自己の考えに取り入れる等、解決策を練り直し、学習支援ソフトを活用して、全体へプレゼンテーションを行った。

複数枚のカードを繋げ、マーカー機能等を活用し、他者の考えを取り入れながら、自分の考えを順序よく段階的に発表させたことで、協働的な学び及び情報活用能力の育成に繋がる効果的な手立てとなっていた。